

I. はじめに

II. 現状

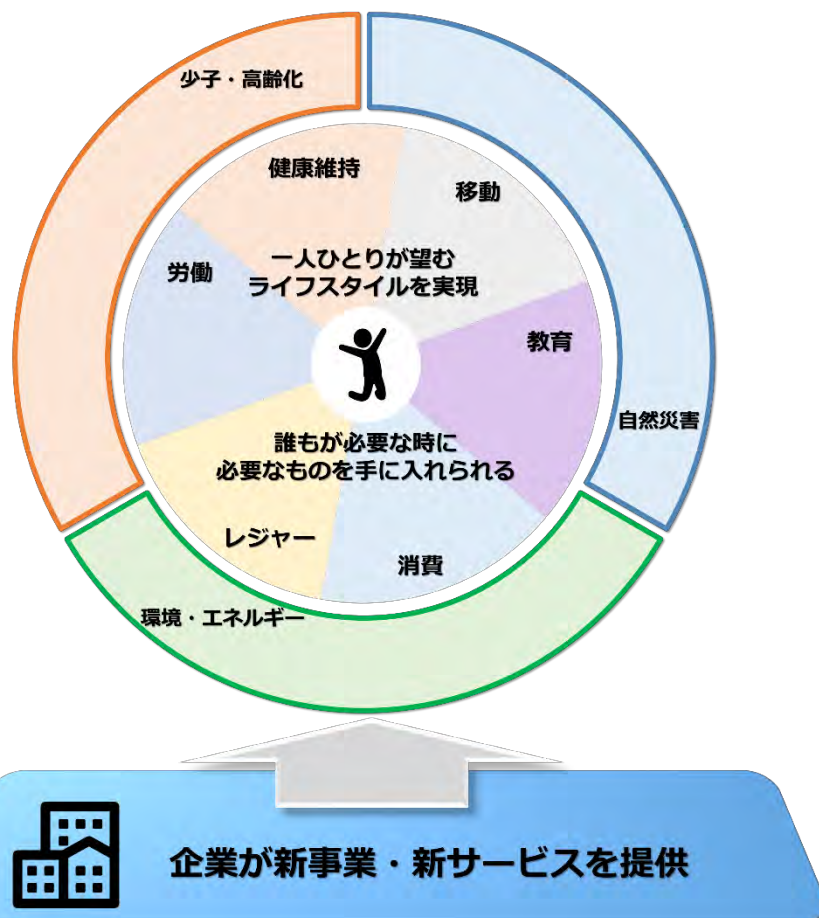
III. 目指すべき新たな経済社会

IV. 実現に向けた課題（壁の突破）

V. 産業界の取り組み

VI. おわりに

□ 個人中心の新たな経済社会を目指す。



個人の変革 ⇒ 個の力の増大

新たな経済社会の中心。高齢者や女性等も含めたあらゆる個人が、安全で安心して、ゆとりをもった健康な生活をおくり、一人ひとりが望むライフスタイルを実現。

企業の変革 ⇒ 新たな価値の提供

デジタル化を通じた生産性の向上やビジネスモデルの変革を進めるとともに、イノベーションとグローバル化の推進により新たな経済社会を実現。

社会課題の解決 ⇒ 未来の創造

わが国が抱える人口減少、超高齢化、自然災害等、山積する課題の解決が図られ、豊かで活力ある未来が実現。

新事業や新サービスの海外展開を通じ、地球規模の課題解決にも貢献。

- 国家的課題に起因するニーズをモメンタムとした改革によって新たな価値やサービスを提供。
- CPSの競争において、フィジカル空間の強みを活用。
- 近年求められる「破壊的イノベーション」「社会起点イノベーション」の創出力、「見えないものづくり」についても強化し、新たな強みとする。

わが国の課題を起点とする

わが国産業の強みを活かす

新たな強みを創造する

人口減少

超高齢化

災害・テロ

環境問題

ものづくり



見えないものづくり

持続的
イノベーション



破壊的イノベーション

技術起点
イノベーション



社会起点イノベーション

人口減少
産業競争力の低下

人口減をものともしない
スマートな社会

超高齢化
女性の活躍

高齢者や女性等、
あらゆる個人が活躍できる社会

災害・テロ
インフラ老朽化

サイバー・フィジカルいずれも
安全・安心な社会

環境問題
資源・水不足

地球規模の環境問題に
貢献する社会